

まちの話題

九州地区空手道選手権大会準優勝



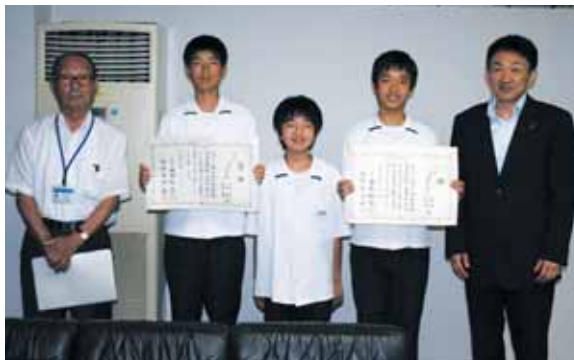
▲全国大会へ出場する希み道場の皆さん

7月12日、日本空手協会希み道場(梶島邦久代表)に所属する新井葵さん(三国中3年)、伊東涼香さん(三国中2年)、鳥越真弥さん(三国中1年)が、第8回九州地区団体戦空手道選手権大会(6月26日)で準優勝したことを平安市長へ報告しました。

また第30回福岡県少年空手道選手権大会で新井さんは中3組手の部で3位、伊東さんは中2組手の部で優勝・形の部で準優勝し、8月13日・14日に三重県で開催される文部科学大臣杯第54回小学生・中学生全国空手道選手権大会に出場することも報告しました。

選手の皆さんは「団体戦は3人で協力・団結することができて2位になりました。全国大会では上位を目指し、道場の記録を残せるように頑張りたい」と全国大会に向けての意気込みを語りました。

囲碁で全国大会出場



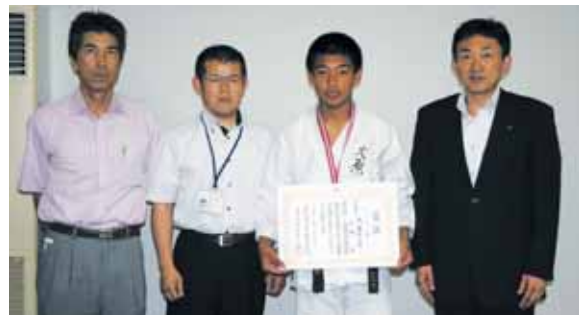
▲全国大会へ出場する三国中の皆さん

7月11日、三国中の上田寛くん(3年)、川崎嶺くん(2年)、相浦健人くん(1年)が6月19日に開催された第8回小・中学校囲碁団体戦福岡県大会中学校の部で準優勝し、全国大会となる第8回文部科学大臣杯小・中学校囲碁団体戦全国大会に出場することを平安市長へ報告しました。

上田くんと川崎くんは昨年も全国大会に出場していて、予選リーグで敗退していることから「決勝トーナメントに進みたい」「去年は1勝しかできなかったのもっと多く勝ちたい」、初出場の相浦くんは「初めてなので、たくさん練習して対戦相手に勝ちたい」と全国大会へ向けて意気込みを語りました。

平安市長は「全国大会は、素晴らしい経験ができるチャンスだと思いますので、しっかり目標目指して頑張ってください」と激励しました。

中体連県空手道大会 組手準優勝



▲平安市長へ報告を行った大森光くん(右から2人目)

7月13日、大原中3年の大森光くんが、6月19日北九州市で開催された第7回中体連福岡県空手道大会の男子個人組手の部で226名参加のトーナメントを勝ち抜き、準優勝したことを中村校長とともに平安市長に報告しました。

この県大会の成績により、8月6～7日開催の第7回中体連九州空手道大会及び8月19～21日開催の第19回全国中学生空手道選手権大会に出場します。

4歳から空手を始め、国際大会でも3位に入賞したことのある大森くんの将来の夢は、ナショナルチームのメンバーに入ることと語り、普段は、拳心会小郡道場や高校の強豪空手道部などで毎日練習を続けています。

平安市長は、「九州大会、全国大会でも日頃の練習の成果を発揮し、上位を目指し頑張ってください」と激励しました。

モトクロス全国大会出場



▲平安市長へ報告を行った能塚智寛くん

7月6日、能塚智寛くん(宝城中3年)が8月6日に宮城県のスポーツランド菅生で開催されるMFJモトクロス全国大会へ出場することを平安市長へ報告しました。

昨年も同じ全国大会に出場し、中学生ながらNB2クラスで優勝、NBオープンクラスで準優勝という素晴らしい成績を飾りました。

モトクロスの専門誌でも「逸材」として注目されている能塚くんは、全国大会に向けて「優勝を狙います」と目標を語りました。

平安市長は「すでに日本のトップレベルになっていて、これからもっと上手くなると思いますので、世界の大会も目指してください」と激励しました。